

# ハネコ・ はねこ

結成：平成25年4月

八幡町で代々石工をされながら『ハネコ踊り』を継承してきた黒田虎雄さんが生前「ハネコ踊りは俺の代で終わる。もう一度八幡町で踊りだなあ！」と私に言われました。その想いを胸に「石切町に伝わった石工さんたちのハネコ踊りを必ず復活させます！」と虎雄さんと約束をし、虎雄さんからお囃子・踊りを伝授していただいたことが祭連結成のきっかけとなりました。

『ハネコ・はねこ』はその名の通り私たちが継承している『ハネコ踊り』から名をいただいています。はねこを重ねて『ハネコ・はねこ』にしていますが、最初のハネコがカタカナなのは『ハネコ踊り』の様に昔はカタカナ表記でしたので普通の『ハネコ』を初めに入れました。現在の『すずめ踊り』の礎となった郷土芸能の踊りです。手を加えずそのままの型を残したいという気持ちがあり名称も敢えてハネコにしました。『出来る限り昔のまま』に拘って活動しています。



色は紺と白のみのシンプルカラーです。

紺：法被・腹掛・股引・地下足袋

白：鉢巻・鯉口シャツ・帯

『ハネコ踊り』は昔の石工の踊りなので石工の服装を再現しています。紺と白のシンプルながら法被の背中デザインは伊達家十八代御当主・伊達泰宗氏です。帯やのぼりの模様は許可をいただき伊達家の家紋である『竹に雀』です。衣装も『出来る限り昔のまま』なのです。



扇子も他のものと同じく『出来る限り昔のまま』で虎雄さんや昔の様子を知っている方にきき、そのままの『白地に日の丸』を使っています。

これからの活動としては、青葉まつりはもちろん、大崎八幡宮奉納演舞、どんとロード八幡雀踊り等『ハネコ踊り』の地元のお祭りへの参加をはじめ、地域の小・中学校への指導や『ハネコ踊り』を踊った石工達の故郷である大阪・堺の方との交流も続けて行きたいと思えます。

『すずめ踊り』の礎である『ハネコ踊り』。踊りやお囃子は同じところもあり、違うところもあり。そういったところを楽しんでいただけると幸いです。『ハネコ・はねこ』はこれからも『ハネコ踊り』を伝承していくと共に、皆様に愛される祭連となるよう精進していきたいと思えます。宜しくお願い致します。

